

事務事業チェックシート

事務事業No 529 事業名 和歌川終末処理場等運転管理事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	3	豊かな暮らしを支える住環境の整備
施策	4	生活排水対策の推進
取組方針	4	公共下水道事業・集落排水事業の適正管理

事業種別	継続	
事業期間	永年	
事業実施の根拠法令	下水道法、水質汚濁防止法	
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	終末処理場管理課	岩崎 秀昭(444-2463)
関連課	(和歌川終末処理場)	

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	下水道事業特別会計		
	款	下水道事業費		
	項	下水道管理費		
	目	下水道管理費		
	大事業	下水道管理事業		
事項	和歌川終末処理場運転管理事業			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か)	事業内容				
	公共下水道区域内 (和歌川処理区) の家庭排水及び事業所排水を浄化し公共用水域の保全をめざす。	各ポンプ場および下水道管より送られた汚水を処理場で受入れ、適正な水処理等を行う。				
実施内容		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		処理場における排水基準の遵守 和歌川終末処理場 芦原中継ポンプ場 和歌浦ポンプ場の運転管理事業を含む維持管理	処理場における排水基準の遵守 和歌川終末処理場 芦原中継ポンプ場 和歌浦ポンプ場の運転管理事業を含む維持管理	処理場における排水基準の遵守 和歌川終末処理場 芦原中継ポンプ場 和歌浦ポンプ場の運転管理事業を含む維持管理	処理場における排水基準の遵守 和歌川終末処理場 芦原中継ポンプ場 和歌浦ポンプ場の運転管理事業を含む維持管理	処理場における排水基準の遵守 和歌川終末処理場 芦原中継ポンプ場 和歌浦ポンプ場の運転管理事業を含む維持管理

2 事業コスト

事業費等 (千円)	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	727,505	715,955	757,052	708,915	767,442	671,368	783,878		783,878	
伸び率 (%)	-	-	4.1%	▲1.0%	1.4%	▲5.3%	2.1%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	28,621	28,352	28,352	24,095	24,105	25,098	24,105	25,098	
	正規職員以外	201	375	375	417	2,499	2,667	2,499	1,615	
	小計	28,822	29,128	29,128	24,512	26,604	26,923	26,604		
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源 (税等)	727,505	715,955	757,052	708,915	767,442	671,368	783,878			
所要人数 (人)	正規職員	3.77	3.81	3.81	3.17	3.17	3.15	3.15		
	正規職員以外	0.10	0.19	0.19	0.19	0.71	0.86	0.86		
主な予算内訳	管理委託料447,655千円、光熱水費221,449千円 等									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動指標	処理場及び各ポンプ場の適切な下水処理 (実績値 (当年度年間高級処理水量[m <sup>3</sup> ]) / 目標値 (前年度年間高級処理水量[m <sup>3</sup> ]))	m <sup>3</sup>	目標値	8,379,120	8,707,120	8,979,800	8,888,226	
			実績値	8,707,120	8,979,800	8,888,226		
			達成度 (%)	100.0%	100.0%	99.0%		
成果指標	放流水の汚濁量 (化学的酸素要求量: COD) t/年 (注記、実績値は年度毎流入水量で変わるので記載できない。) 負荷量実績値 (t/年): 分析値 (mg/L) × 放流量 (m <sup>3</sup> ) × 1/1000000	t/年	目標値	921	921	921	921	
			実績値	72	80	80		
			達成度 (%)	100.0%	100.0%	100.0%		
	放流水の汚濁量 (窒素) t/年 (注記、実績値は年度毎流入水量で変わるので記載できない。) 負荷量実績値 (t/年): 分析値 (mg/L) × 放流量 (m <sup>3</sup> ) × 1/1000000	t/年	目標値	552.6	552.6	552.6	552.6	
			実績値	112.5	98.1	98.1		
			達成度 (%)	100.0%	100.0%	100.0%		

4 事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)		達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実	/			
	現状維持	/		○	/
	縮小	/		/	/
	廃止	/		/	/
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	処理場施設の老朽化のため、長期的改築計画を進めている。
見直し・改善内容	コスト経費の節減を目指し、運転方案を含めて創意工夫しさらなる節減に取り組む